

STORY of TENKENSOU

2020-2025

あらゆる空間づくりへの道

2事業部体制で次のステップへ

2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックで始まりました。店研創意では、感染症対策のニーズの高まりを受けさまざまな商品を開発することに。また、大西グループの取り組みの一環から成長戦略プロジェクトをスタートさせ、業績悪化に陥っていた店研創意も次の成長に向けて、幅広い分野に進出するために、改革に踏み切ることになりました。

空間プロデュース事業部の設立も、その1つです。社員の代表者数名で構成されたプロジェクトチームが発足し、2022年に空間プロデュース事業部では「価値ある空間創りを通じて、感動を分かち合う」、ストアエクスプレス事業部では「熱い想いでワクワクの未来を創る」というビジョンが完成しました。

社員の意識改革が進む中、コロナ禍が明けたことで店舗にお客様が戻り始め、業績もV字回復。苦難を乗り越え、明るい光が見えてきたのです。

家具から住宅・オフィスまで

店舗什器で培ってきたノウハウで、店研創意は新規事業にチャレンジします。2022年に誕生した子会社の「株式会社ENEN」では、家具ブランド「ENEN」として、D2C (Direct to Consumer) 事業に着手。2023年の自由が丘店に続いて翌年には大阪店をオープンし、オンラインショップと併せて、家具やインテリア雑貨の販売をスタートしました。

既存事業においても、2023年にストア・エクスプレス パーチャルショールームを開設。Web上で店舗での什器レイアウトや商品陳列をリアルに近い形でイメージできるようになりました。チャレンジはまだまだ続き、2024年には住空間・オフィス営業部を設立。住宅やオフィス市場へのアプローチを開始し、店舗にとどまらずあらゆる空間をプロデュースする会社として、新たな一歩を踏み出しました。

社内での
愛称は「FDS」



フォールディングスリット什器

集客イベントや空床スペース活用ニーズを受け開発された什器。シンプルな設計にも関わらず、耐荷重は堂々の100kg!

FURNITURE

時勢とニーズに合わせ、
店舗以外での使用商品も開発



ミーティングテーブルやパーティションなどオフィス家具にも注力



スチール製ロッカー(左)/
プリンターボックス(下)
オフィス・バックヤード用品
の開発にもチャレンジ



TRシリーズ

「都市型スーパー」をターゲットにした什器。店研創意では初めての奥行35cm設計。コンパクトながらも耐荷重も備え、外観にもこだわった



TWシリーズ

TRをベースにした木製什器。背面パネルの構造を見直し、木製でありながら耐荷重を大幅にアップさせた



売り上げ、
客数とも旧型を
大きく上回る!

ラテラル・ロコシリーズ

ラテラル・フォーのブラッシュアップ版。営業の意見を最大限に取り入れ、下部収納機能と外れ止めブラケットが高評価を得た

鍵付きフィッティングルーム
プライバシーやセキュリティなど
への社会的ニーズの高まりに
合わせて開発



2020年新型コロナウイルス感染症が流行
飛沫感染対策の需要が高まり、
関連商品の注文が殺到した。



ペダル式消毒スタンド



卓上アクリルパーティション